

経営比較分析表（令和元年度決算）

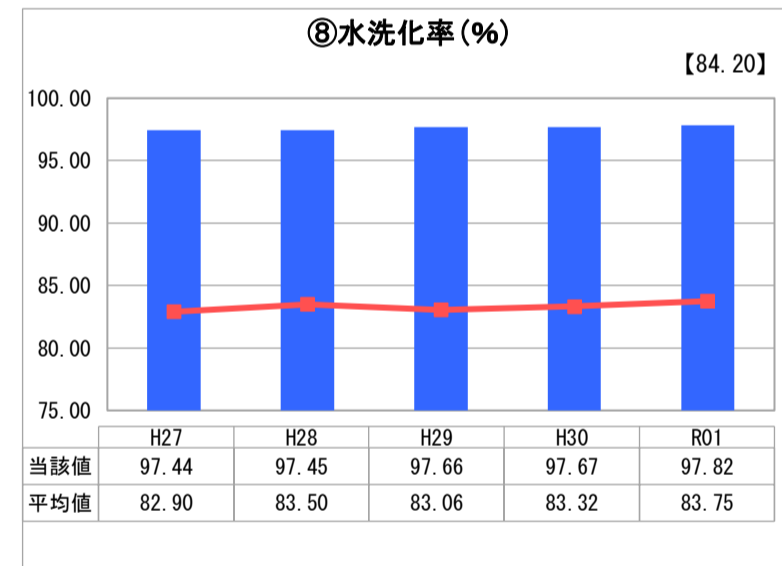
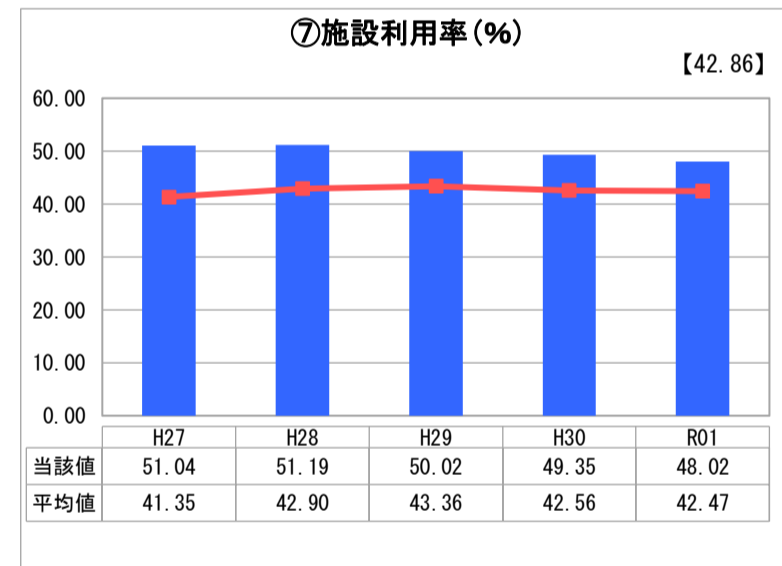
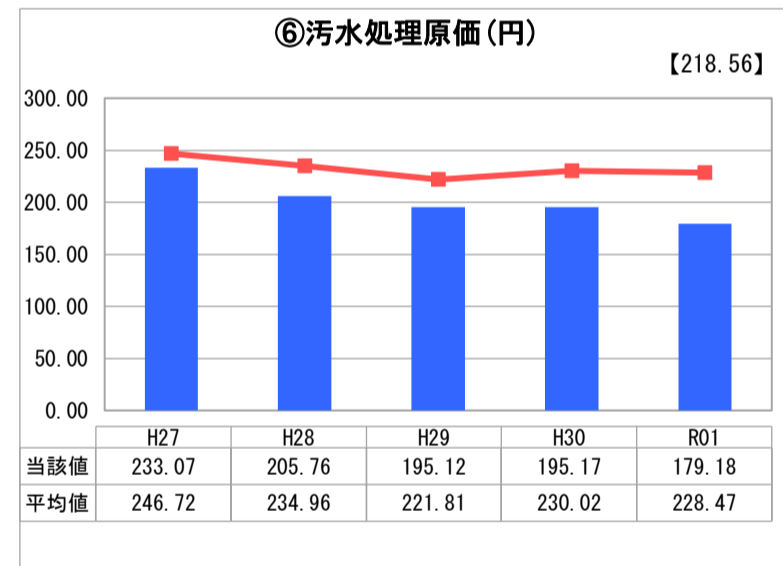
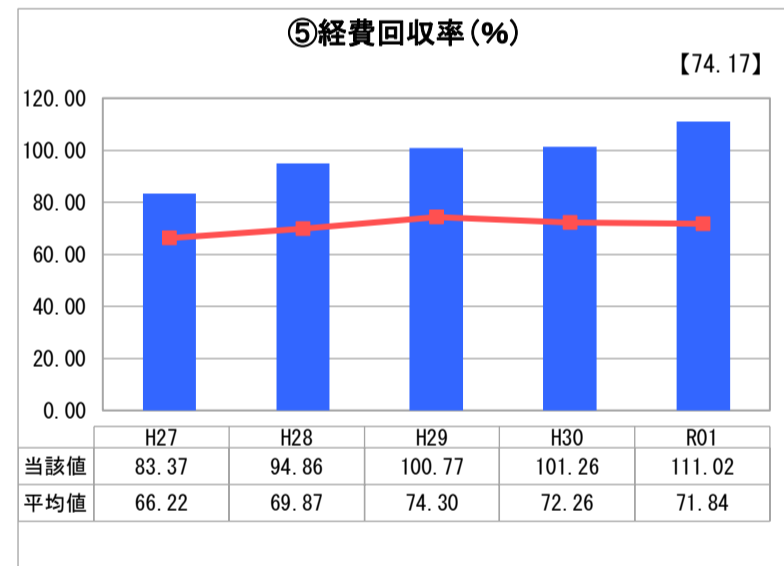
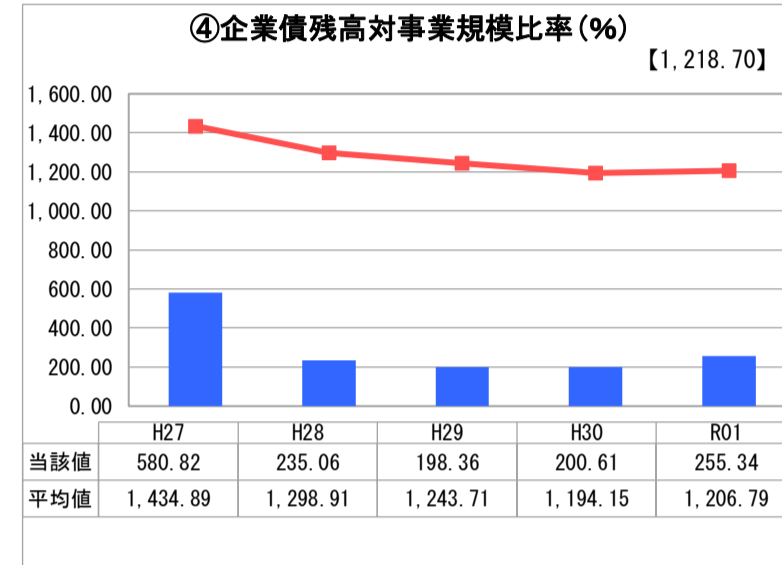
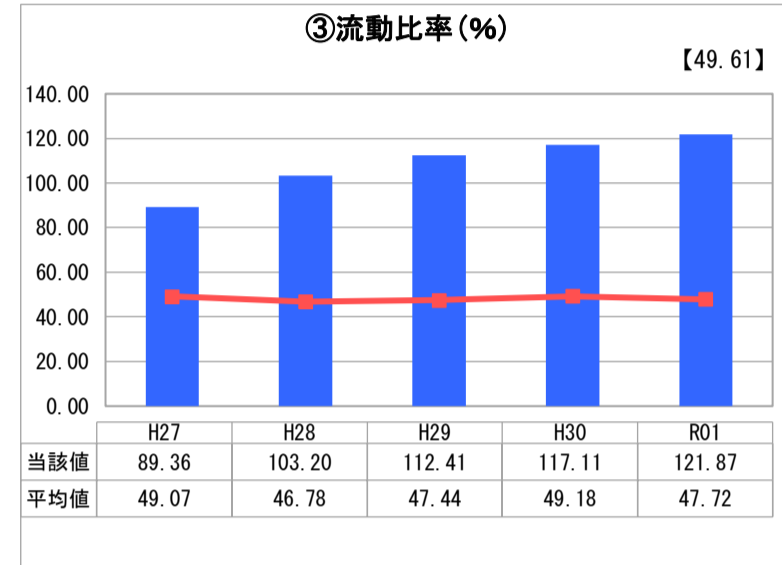
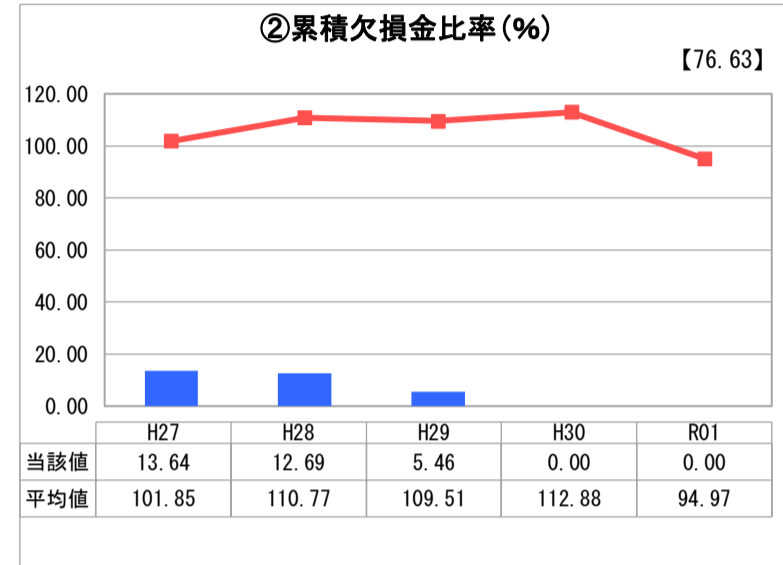
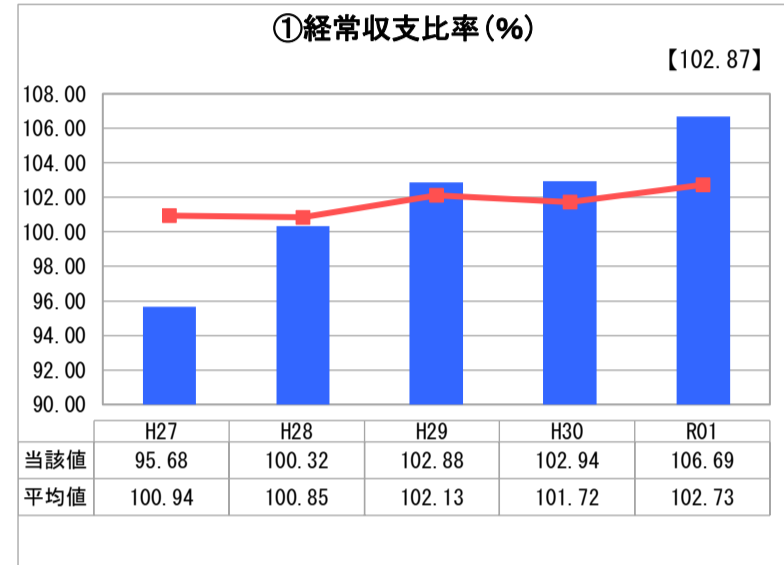
兵庫県 丹波市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	51.61	37.42	91.91	4,290

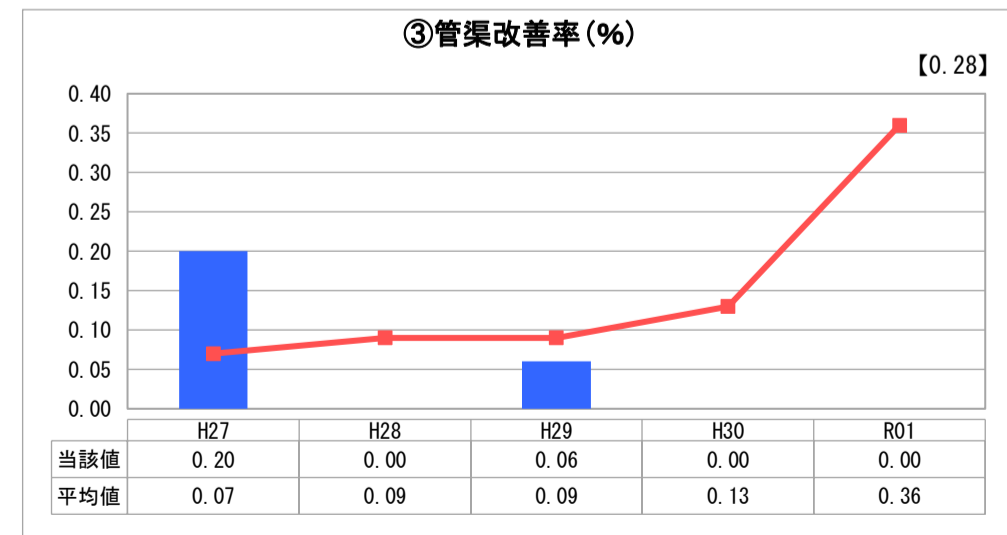
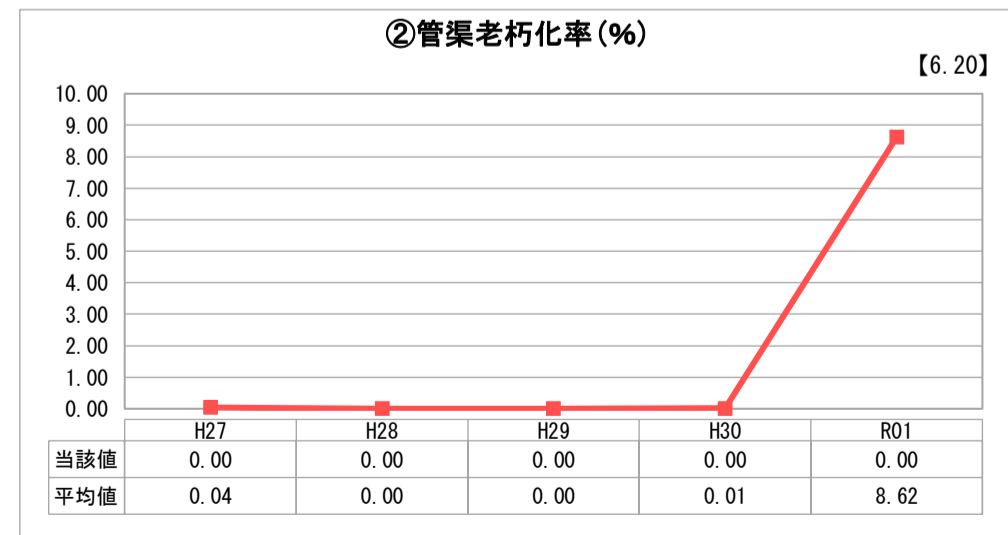
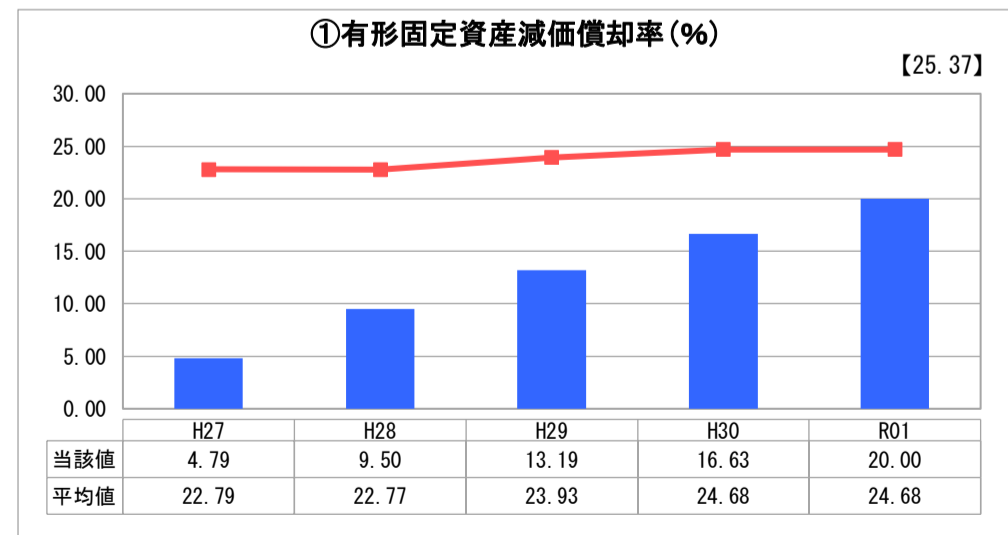
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,941	493.21	129.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
23,822	14.37	1,657.76

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、類似団体平均を上回っており、経常収支の黒字が続いている。
- ②累積欠損金比率は、累積欠損金が発生しておらず0%である。
- ③流動比率は、類似団体平均を大きく上回っており、支払い能力も向上している。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を大きく下回っている。
- ⑤経費回収率は、類似団体平均を上回っており、かつ使用料で回収すべき経費が賄えている。
- ⑥汚水処理原価は、類似団体平均を下回っている。
- ⑦施設利用率は、類似団体平均よりやや高く、長期的には人口減少等の影響による減少傾向である。
- ⑧水洗化率は、類似団体平均より高く微増しており、100%近くとなっている。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がなく、ともに算定されていない。特定環境保全公共下水道の管渠延長297kmを有し、その改築更新については、令和15年頃より順次耐用年数を経過するため、計画的な改築更新に向けて財源確保に取り組む必要がある。

全体総括

現状では、維持管理費を料金収入で100%賄えているが、今後は、高資本費対策に要する経費（一般会計繰出金）や料金収入の減少等により厳しい経営状況が見込まれる。当市は中山間地域に位置し、広大な処理面積を有し、公共下水道に加え、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設、コミュニティ・プラントの34処理場と管渠延長約740kmを有している。これらの施設の法定耐用年数が経過する令和15年頃から改築更新経費の増大が見込まれるため、経営の安定化に向けて、丹波市下水道事業中期ビジョンに基づく、施設の長寿命化や不明水対策の実施により維持管理経費及び改築更新コストの平準化や削減に取り組む必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。